

(株)スガワラホールディングス

「人生100年時代」の トータルライフサポーター企業に

仙台市を中心に、清月記などの葬祭業、懐石料理 東洋館、土湯別邸の湯(福島県土湯温泉、ザ・ロイヤルハイヤーなど、「人生100年時代」を念頭に「トータルライフサポーター」企業を創造する。(株)スガワラホールディングス(本社・仙台市)。新しい年の2022年に向けた取り組みなどについて、菅原裕典社長に聞いた。

「新型コロナは、わたしたちに 新しいチャンスを与えてくれた」

「21年も新型コロナ禍の中になりましたが、この状況をどのようにお考えですか。」

菅原 過去にヨーロッパでパンデミックとなったペスト、日本では大正期のスペイン風邪など、私たち人間は、これまでさまざまな菌やウイルスとの戦いでした。しかし人類はそれを乗り越えてきました。今回の新型コロナウイルスは、我々に新しいチャンスを与えてくれたのではないかと思います。

—— 葬祭事業にも大きな影響があったと思いますが。

菅原 10年前の東日本大震災の時は別として、今回のコロナ禍の影響で、ご葬儀規模の縮小などの変化は

ありました。しかし規模の大小に限らずご遺族の皆さまからは「ありがたい」と、おっしゃっていただいています。こうしたときこそ、信頼性を増すことが非常に重要なことだと思っています。

—— 19年から、さまざまな分野へ事業を拡大、新しい取り組みを進めています。

菅原 福島県の名湯、土湯温泉の旅館辰巳屋山荘 里の湯を取得、「土湯別邸の湯」として旅館経営、観光事業に参入いたしました。土湯別邸里の湯は、磐梯朝日国立公園の渓谷の中にあり、天皇陛下も皇太子時代の1996年に滞在した高級旅館です。おかげさまで、多くのお客様にお泊まりいただき、年末年始はすでにご予約で埋まっておりまして、青葉区錦ヶ丘の大型住宅団地ハ-

トヒルズ錦ヶ丘に、本格的なイタリアンレストランをはじめ、さまざまなイベント催事や会議、懇親の場として使用できる大型のバンケット施設「アーリー迎賓館」をオープンさせ、飲食業もスタートしました。

東日本大震災を契機に仙台東部地区の開発が進みましたが、西部地区は素晴らしい住環境を持ちながらなかなか注目されない地区でした。その要因の一つに、多くの人が集まる施設やオシャレな場所が少ないからだと思います。

—— 21年には、仙台三大料亭の一

「常に元気な姿を見せていくことで 仙台に新しいムーブメントが起ります」

菅原社長は、常にチャレンジ精神で事業を展開されています。その原点となる考えは何でしょうか。

菅原 起業時、葬祭業は少しの経験値はありましたが、そのほかは、すべてゼロから創り上げてきた添っていたいと希望される方が多いのです。

みおくり邸宅については、大崎の北川葬儀社さまの他、仙南のかねこさまで白石に開設、青森県は準FCで展開します。山形、盛岡市は直営の形を検討します。5〜10年後の需要も見据えながらご要望にお応えしていくことが、私たちグループの使命だと思っています。

また東洋館には、一度は来ていただいで、114年の歴史建築の中でご会食や結婚披露宴、七五三など思い出を作っていただけだと思います。ロイヤル・ハイヤーも台数を増やし、本当の国際都市仙台に相応しいサービスを展開しています。

「故人をしっかりと送りするため、 22年6月からエンババーミニングをスタートします」

—— 2022年の、取り組みについて伺います。

菅原 エンババーミニングを22年6月からスタートします。100%細菌やウイルスなどの感染の恐れがない中で、故人の美しいお顔のままお別れができるようになります。2年前から弊社の社員がエンババーミニング取得の研修を受け、エンババーミニング

した。そしてお客さまもゼロからスタート、清月記ブランドと暖簾を創ってきました。弱っているところではなく、常に元気な姿を見せていくことがとても大切なことです。そのことで仙台に新しいムーブメントが起きてきます。

—— 仙台をどう見えていますか。

「仙台ほど大きな可能性を 秘めている都市はありません」

菅原 日常生活からなかなかマスクははずせないかもしれませんが、ワクチンも開発され、少しずつ以前の状態に戻っていきます。仙台は東北では一番人が集まってきていますし、最近の発表でも人口は増え続けています。日本を代表する大手デベロッパーが、人口減少時代を迎えているにも関わらず、新しい住宅開発



菅原 裕典
(株)スガワラホールディングス
代表取締役社長

●プロフィール●

すがわら・ひろのり 1960年宮城県塩釜市生まれ。83年東北学院大学経済学部経済学科卒業。83年名古屋・中京葬儀社入社。85年3月、父・清一とすがわら葬儀社設立。1991年、(株)すがわら葬儀社の組織変更。2000年エボックゼンだい設立。2001年より(株)すがわら葬儀社代表取締役。2001年せんだい泉エフエム放送取締役。2001年4月より社会福祉法人 無量壽会理事長就任。10年(株)清月記に社名変更。11年5月認定NPO法人JETOみやぎ理事長就任。15年1月仙台市青葉区木町通「仙台迎賓館 齋苑」運営。15年7月、国際ロータリー第2520地区ガバナー就任。20年4月宮城県葬祭業協同組合理事長就任。20年9月 (一社) 宮城県法人会連合会・東北六県法人会連合会会長就任。

清月記

ファミーユ

LIFESTYLE CONCIERGE

石伸

Maison

Early Geihinkan

斎苑

ボツたん

THE ROYAL HIRE

ザ・ロイヤルハイヤー

Flower Studio S

国際ツアー

一乃庵

キョーリ

Kids Duo

土湯別邸

東洋館

謹賀新年 2022

年頭にあたり皆様方のご健康とご多幸に祈念いたします。

スガワラホールディングス
清月記グループ
代表取締役 菅原 裕典
総本社 / 仙台市宮城野区日の出町 2-5-4